

Q4 いままで問題になっていなかった96条改憲が、なぜ急に問題に？

安倍首相は、96条を変えたら、続いて9条も「書き換えるべきだ」と言っています。自民党の改憲案では9条を改め、自衛隊を「国防軍」とし、「自衛権」の名のもとにアメリカと一体となって海外で自由に武力を行使できる（集団的自衛権の行使）ようにするとしています。そのため軍事秘密の保護や軍法会議、非常事態宣言の制度まで決めています。真のねらいは、このように日本を海外で戦争できる国にするための9条改憲にあります。

〈「国民投票なれ」をつくりだす狙い〉

しかし、どの世論調査を見ても、9条改憲反対が国民の過半数をしめています。これが安倍首相らの最大の“弱み”になっています。そこでまず96条を変えて国民の「国民投票なれ」をつくりだし、領土問題などで国民の9条に関する支持が揺らいだら、一気に9条改憲の国民投票を行うというものです。



Q5 戦後、一度も改正していない日本の憲法は「現実とかけ離れてしまった」？

世界188カ国の憲法を比較・分析したアメリカの2人の法学者は、日本国憲法はいまでも「世界の最先端」にあり、「不朽の先進性」をもっていると評価しています（2012年5月3日「朝日新聞」）。改める必要がないのです。フィリピンの非核条項やコスタリカの常備軍の禁止など、いまや世界の多くの国々が憲法に平和条項をもっていますが、日本国憲法9条ほど徹底した平和主義の憲法はありません。日本国憲法25条の生存権の規定なども、世界的に見て先進的なものです。

〈憲法を「生かす」ことこそ大切〉

必要なのは、この憲法を「変える」ことではなく、「生かす」ことです。

96条改憲は、この国民の願いに逆行し、9条改憲への道を開くものであることを職場や地域、家庭で話し合しましょう。

国民投票をしても過半数の賛成を得られないとわからせるまで徹底して世論を広げましょう。



憲法会議（憲法改憲阻止各界連絡会議）

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-10 神保町マンション 202
TEL.03-3261-9007 FAX.03-3261-5453
E-mail : mail@kenpoukaigi.gr.jp

なぜいま96条改憲か？

ねらいは9条をかえて戦争する国づくり



〈日本国憲法第9条〉

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段として永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。

国の交戦権は、これを認めない。

憲法会議 (2013.5)